第４０回全京都障害者総合スポーツ大会
陸上競技大会の部　参加申込書

※ 楷書でていねいに記入して下さい。（男子は黒書、女子は朱書で）

ふりがな 氏　名		性別	男・女	年齢	歳
住　所	〒 TEL(　　)　　－				
年齢区分	A．30才未満　B．30才以上40才未満　C．40才以上55才未満 D．55才以上65未満　E．65才以上（該当区分に○印をして下さい）				
所属または行政区					
出場種目		ナンバーカード ※記入しない			

該当箇所に○印をして下さい

障害者手帳	障害名（手帳に記載されている障害名を記入して下さい）	障害区分番号 （右の区分参照）
身体・療育・精神		

次年度の全国障害者スポーツ大会の出場（いずれかに○印を）　①希望する　②希望しない			
全国障害者スポーツ大会出場経験の有無	有・無	㊒の人はどこの府県であった大会ですか	
今年度の全国車いす駅伝競走大会の出場　①希望する　②希望しない			
介助者	①有　②無		
手話・要約必要な方へ	手話通訳、要約筆記が必要な方は、どちらが必要かご記入ください。 □手話通訳　□要約筆記		

注）参加申込書は、該当する項目に必ず記入してください。（ナンバーカードを除く）

※ 事前に医師の診断を受ける等、十分な健康管理の下に参加すること。
※ 上記の個人情報は、当該目的以外には使用いたしません。

キリトリ線

全京都障害者総合スポーツ大会　陸上競技大会　種目一覧表（男女共通）

◎男女別・年齢区分別

					全国障害者スポーツ大会兼全京都陸上大会種目																	
					全国大会選考対象外種目	全国大会選考対象種目																
					競走											跳躍			投てき			
			障害区分番号	障害区分	障害急歩	300m急歩	3000m	50m	100m	200m	400m	800m	1500m	スラローム	走高跳	立幅跳	走幅跳	砲丸投	ソフトボール投	ジャベリックスロー	ビーンバッグ投
肢体不自由	1	上肢	1	手部切断 片前腕切断　片上肢不完全 片上腕切断　片上肢完全			◎	◎	◎				◎			◎	◎	◎	◎	◎		
			2	両前腕切断、片前腕・片上腕切断 両上肢不完全			◎	◎	◎						◎	◎	◎					
			3	両上腕切断　両上肢完全			◎	◎	◎						◎	◎	◎					
		下肢	4	片下腿切断　片下肢不完全				◎	◎							◎	◎	◎	◎	◎		
			5	片大腿切断　片下肢完全		◎		◎	◎							◎	◎	◎	◎	◎		
			6	両下腿切断				◎	◎							◎		◎	◎	◎		
			7	片下腿・片大腿切断 両下肢不完全	◎	◎		◎								◎		◎	◎	◎		
			8	両大腿切断　両下肢完全	◎	◎												◎	◎	◎		
		体幹	9	体幹			◎	◎	◎							◎	◎	◎	◎	◎		
	2	脳原性麻痺以外で車いす使用	10	第６頸髄まで残存				◎	◎					◎								◎
			11	第７頸髄まで残存					◎	◎		◎	◎	◎								◎
			12	第８頸髄まで残存										◎				◎	◎	◎		
			13	下肢麻痺で座位バランスなし					◎	◎		◎						◎	◎	◎		
			14	下肢麻痺で座位バランスあり			◎		◎	◎		◎	◎					◎	◎	◎		
			15	その他車いす														◎	◎	◎		
	3	脳原性麻痺（脳性麻痺、脳血管疾患、脳外傷等）	16	四肢麻痺で車いす使用				◎						◎								◎
			17	けって移動				◎						◎								◎
			18	片上下肢で車いす使用				◎						◎					◎	◎		
			19	上肢で車いす使用				◎	◎	◎		◎	◎	◎				◎	◎	◎		
			20	その他走不能	◎	◎												◎	◎	◎		
			21	上肢に不随意運動を伴う走可能				◎	◎	◎			◎			◎	◎	◎	◎	◎		
			22	その他走可能				◎	◎	◎			◎			◎	◎	◎	◎	◎		
	4		23	電動車いす使用										◎								◎
視覚障害			24	視力０から0.01まで			◎	◎	◎	◎		◎	◎			◎	◎	◎	◎	◎		
			25	その他			◎	◎	◎	◎		◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎		
聴覚・平衡機能障害、音声・言語・そしゃく機能障害			26	聴覚障害			◎	◎	◎	◎		◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎		
療育			27					◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎		◎	◎		
内部障害			28				◎	◎					◎			◎	◎		◎	◎		
精神保健			29					◎	◎		◎	◎	◎		◎		◎		◎	◎		

※次年度の全国障害者スポーツ大会出場希望者は、全国大会選考対象種目の中から選んで申し込んでください。
※５０m競走で使用する車いすは日常生活用とする。
※視力は「矯正後の良い方の視力」で判定する。視力を算出する際、光覚弁、手動弁は視力0、指数弁は視力0.01とする。
矯正後の良い方の視力が0.02以上の場合は、視野障害の有無に関わらず、その他の視覚障害に区分される。
※障害区分24は光を通さないアイマスクまたはアイシェードを装着する。

［障害区分の説明］

1　完全とは、上肢や下肢の大きな３つの関節の機能が損傷を受け、補装具なしでは体重を支えきれないもの。

2　体幹障害とは、脳原性麻痺を除く脊柱障害のもの（脊柱側弯など）。

3　関節離断は、上位の部位の切断として扱う。肘関節離断は上腕切断となる。指および手のひらの切断は手部切断となる。

4　肢体不自由の７級が重複して６級に認定されている場合には、７級に認定された障害の区分で競技に参加してもよいが、多肢切断や両上肢障害などのように、複数の部位の切断や機能障害の場合には、３肢以上（多肢）や両上肢がそれぞれ６級以上の認定を受けていなければならない。

5　座位バランスの判定は、「へそ」の位置での知覚レベルの有無が一つの判断基準になる。背もたれのない椅子に座り両手の支えなく座ることができる場合は「座位バランス有り」と判断する。

6　肢体不自由者２で、頸髄や脊髄損傷以外のものは、筋力評価等によって適用する区分に入れる。

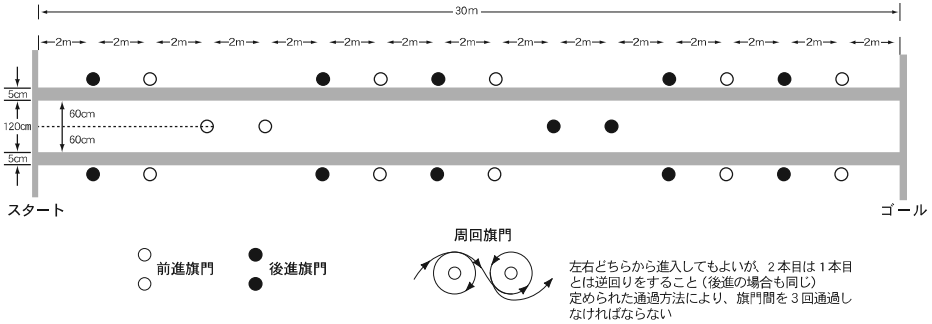
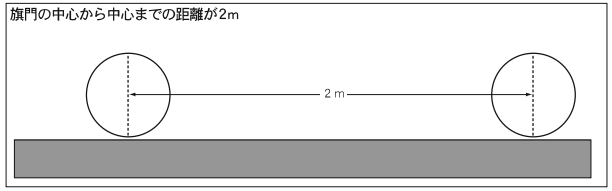
7　脳原性麻痺とは、脳性麻痺、脳血管疾患や脳外傷等による脳に起因する機能障害である。

8　視力は、両眼の和でなく、矯正後の良い方の目の視力である。

9　競技上の注意

①　身体障害が重複している場合でも、同一の大会では、同じ障害区分で参加すること。

②　上腕切断が前腕切断で参加するように、より軽度の区分での参加は認めない。

③　両下肢完全の者が、補装具を付けて立位でソフトボールを投げ、競技のときだけ車椅子で卓球をするなどは認められる（申込書に明記すること）。

〈スラロームの障害物および旗門の位置〉